

# 共に働く：オプス・ディの協力者とは？

世界中の人々が、オプス・ディの協力者であることの意味や、日々の生活にどのような励ましをもたらしてくれるかを語っています。

2022/01/05

「協力者になるということは、自分ができることは何でもするということです」と、退職したイタリア人教師のステファニアは説明します。ブラジル人のグスタボは、このワーク

が「他者への奉仕と献身という非常に美しい道」を示してくれ、そこに自分の人生の意味があるのだと言う。フィリピン出身のケイは、人が困っているときにもっと与えたいと思い、協力者になることを決心したと打ち明ける。

これらは、YouTubeで公開されているドキュメンタリー、『Working Together: Cooperators of Opus Dei』の主人公たちの一部です。9カ国16人の主人公を通して、協力者とは何か、オプス・ディとの関係はどうなっているのかが描かれている。

22分のビデオには、聖ホセマリアが彼らを "友人"と呼んだ映像も含まれています。"これこそが私たちの姿、友達です。キリストを愛し、できる限り、そしてできる以上少しばかりでもよいことをしようとする友人たちです」と、映像に映し出された混雑した集会で説明した。

オプス・ディの属人区長、フェルナンド・オカリス師も短く挨拶し、彼らがオプス・ディと教会のために行うすべてのことに対する感謝を述べました。

---

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/article/Isshoni-Hataraku-Kyouryokusha-bideo/>  
(2026/01/23)